

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 1 日現在

機関番号：32616

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25370892

研究課題名(和文) パルミラ墓内彫刻表現と考古資料の比較研究

研究課題名(英文) Palmyrene Banquet Scenes: A Comparative Study of the Sculptural and Archaeological Materials

研究代表者

宮下 佐江子 (MIYASHITA, SAEKO)

国土舘大学・イラク古代文化研究所・共同研究員

研究者番号：80132760

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,900,000円

研究成果の概要(和文)：シリア・アラブ共和国の中央に位置するパルミラは前1世紀から紀元後3世紀に開けて交易都市として栄えたが、その美術的特徴は墓に設置された個人肖像、石棺、葬礼の彫像などに顕著に見られる。

本研究において、シリア以外のイタリア、トルコ、ロシアの博物館に所蔵された彫像をあらたに見だし、デ・タを得ることができた。さらに墓の中心的彫像である饗宴図像の精査により、主なる人物がもつ容器を実物と同定し、同じ形の容器が金属、陶器、ガラスで制作され、パルミラではガラスや金属製が使われていた可能性を示唆した。また、饗宴図像の中心人物が履く履物について、その東方的影響について具体的に提示した。

研究成果の概要(英文)：Palmyra, a city in the Syrian Desert, grew rich from the caravan trade during the first three centuries of our Era. Characteristics of the Palmyrene art can best be observed in three main types of funerary sculptures: plaques with relief carvings, sarcophagi and the funerary statues.

For this study, I investigated Palmyrene sculptures kept in museums in Italy, Turkey, the U.K., and Russia. The focus of my study was the container held by the main figure in the banquet reliefs. Based on my comparative study of containers similar to ours that have been unearthed in the Mediterranean and West Asiatic world, I suggest that the container held by the main figure in the Palmyrene banquet reliefs was not a glazed pottery but was made of either glass or metal. Some citizens of Palmyra were wealthy enough to afford to use metal and glass ware in the banquet. Incidentally I have also noted some eastern influence in the footwear the main figure of banquet scenes of Palmyra.

研究分野：西アジア美術考古学

キーワード：パルミラ 墓 彫像 饗宴図 持ち物 沓

### 1. 研究開始当初の背景

日本のパルミラでの本格的現地調査は 1990 年からの奈良県立橿原考古学研究所によるものである。研究代表者は当初よりこのプロジェクトに参加し、美術史的視点での分析をすすめていた。日本隊の調査結果も、先んじてパルミラでの調査を行ってきた欧米各国調査団、現地研究者に広く認められてきた矢先、シリア国内で内戦が勃発し、調査は中断せざるを得なくなった。



1995 年東南墓域 F 号墓での日本隊調査

2015 年 破壊されたパルミラ博物館展示室



### 2. 研究の目的

パルミラ美術の中核をなす墓の肖像彫刻はこれまでに多数の研究者が分析、考察を行ってきたが、完全とは言えない。それらについて周辺遺物との比較研究をさらに進める。また、内戦によって略奪、破壊を受けたものも少なくない。各国の研究者と連絡をとって、シリア国内に残された遺物、国外に保管されている彫像の情報を共有化する。



京都府大山崎山荘収蔵 大型パルミラ饗宴図

### 3. 研究の方法

これまで収集したシリア国内のパルミラ彫像のデータ、特に日本隊発掘遺物について集約する。シリア国外のそれらを含めた比較検討、考察をすすめた。



日本隊による調査の成果  
東南墓域 H 号墓出土饗宴図像

### 4. 研究成果

今まで報告されていなかった肖像資料をイタリア、トルコ、ロシア、イギリスの博物館で収集した。また、饗宴図像について、主たる饗宴者の持つ容器、沓などの分析をすすめた。図像と実物を検証した。

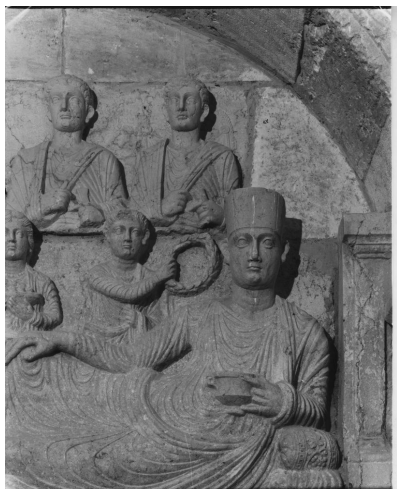


エルミタージュ美術館所在 関税碑文

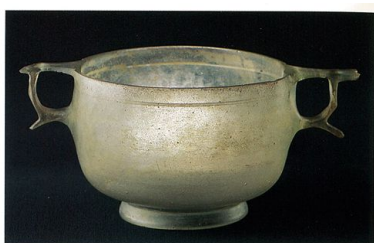


イスタンブール考古学博物館所在 肖像彫刻

Artaban の墓出土饗宴図像 2 世紀 東南墓域



両手付ガラス製杯 ミハイロスカヤ古墳群出土 1 世紀 クラスノダル博物館蔵



アレーヌの墓出土人物彫像の履く沓 2-3 世紀 パルミラ博物館蔵



絹製靴下 1 世紀  
ノイン・ウラ出土 エルミタージュ美術館蔵



5 . 主な発表論文等  
( 研究代表者、研究分担者及び連携研究者に

は下線 )

〔 雑誌論文 〕 ( 計 6 件 )

宮下佐江子 “ Etude des coupes dans les scènes de banquet palmyréniennes : à propos de l'introduction à Palmyre des coupes à deux anses en anneau avec repose-pouce , 査読あり , *al-Rafidan* 37, 2015 pp. 181-188

宮下佐江子 「 パルミラの沓 」 『 第 22 回ヘレニズム～イスラーム研究会 』 2015 pp. 166-172

宮下佐江子 “ The vessels in Palmyrian Banquet Scenes: Tomb BWLH & BWRP and Tomb TYBL ”, 査読あり , *Palmyrena : City, Hinterland and Caravan Trade between Orient and Occident*, 2015, pp. 131-146

宮下佐江子 パルミラ饗宴図像の容器 III 両把手付杯のパルミラでの受容について 『 第 21 回ヘレニズム～イスラーム研究会 』 2014, pp. 89-95

宮下佐江子 パルミラ墓内饗宴図像にみられる水平把手付容器について、査読あり 『 古代オリエント博物館紀要 』 32 号, 2013 pp. 141-156

宮下佐江子 「 パルミラ饗宴図像の容器 浅型杯について 」 『 第 20 回ヘレニズム～イスラーム研究会 』 2013, pp. 71-75

〔 学会発表 〕 ( 計 3 件 )

宮下佐江子 パルミラの沓 ヘレニズム～イスラーム研究会 2015 年 7 月 5 日 金沢大学角間キャンパス

宮下佐江子 パルミラ饗宴図像の容器 III 両把手付杯のパルミラでの受容について ヘレニズム～イスラーム研究会 2014 年 7 月 6 日 金沢大学角間キャンパス

宮下佐江子 パルミラのカットガラス容器 ヘレニズム～イスラーム研究会 2013 年 7 月 7 日 奈良県立橿原考古学研究所

〔 図書 〕 ( 計 4 件 )

宮下佐江子 他、古代オリエント博物館、 『 古代の樂園—神話、来世、桃源郷・・・— 』 2014, 58

宮下佐江子、アートプランニングレイ 『 ペルシアのきらめき 』 2014, 107

宮下佐江子 他、大阪弥生文化博物館、 『 遙なるメソポタミア 』 2014, 40

宮下佐江子 他 『 いいにしえのきらめき-シルクロードの装身具 』、平山郁夫シルクロード博物館、2014, 30

〔 産業財産権 〕

出願状況 ( 計 0 件 )

名称 :

発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況（計 0 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

#### 6. 研究組織

##### (1) 研究代表者

宮下佐江子 (MIYASHITA, SAEKO)  
国土館大学 イラク古代文化研究所・共同  
研究員  
研究者番号：80132760

##### (2) 研究分担者

( なし )

研究者番号：

##### (3) 連携研究者

( なし )

研究者番号：